

月平均 500mb 天気図. 1990年 1月

(破線は平年からの偏差. 単位m)

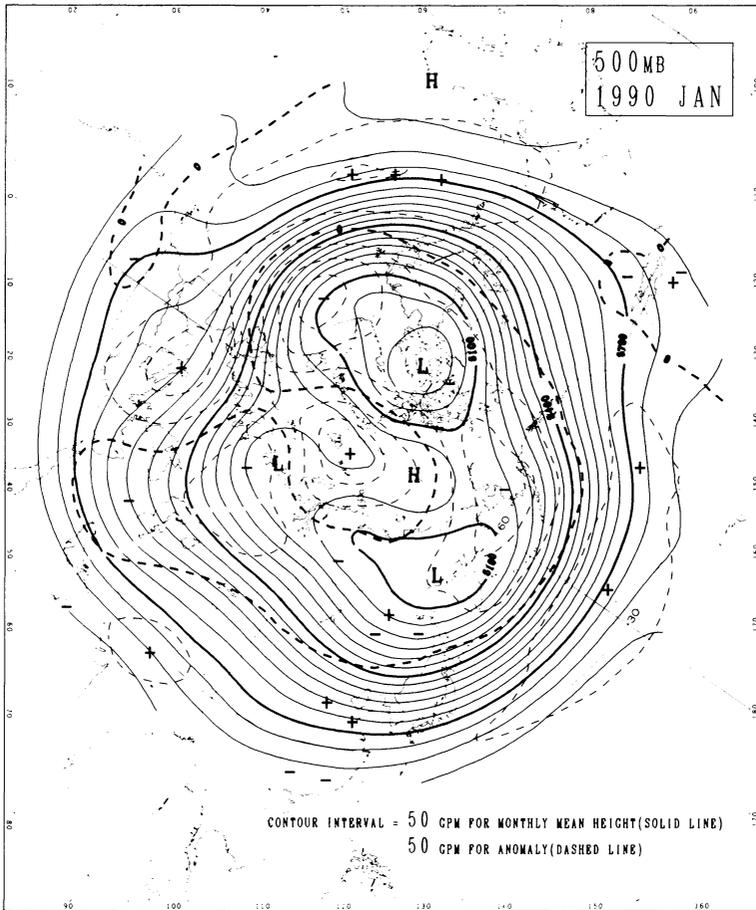


表1 平成2年 1月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
バリ	5.6	2.5	1.0	37	69	2	カサブランカ	11.9	-0.5	-0.6	83	126	4
ベルリン	4.1	4.6	1.4	32	78	3	ニオロドサヘル	21.4	-1.3	-1.1	0	0	—
ローマ	7.3	-0.7	-0.4	61	73	2	プレトリア	22.9	1.9	1.9	57	46	1
アテネ	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	4.4	2.1	0.7	193	139	4
モスクワ	-5.7	4.2	0.9	53	171	—	ニューオリンズ	10.5	-1.8	-0.7	278	284	5
オデッサ	1.9	4.1	1.2	9	32	2	セントルイス	6.1	6.2	2.1	36	72	3
ニューデリー	16.2	1.9	1.4	0	0	1	サンフランシスコ	9.9	0.7	0.4	78	76	2
カルカッタ	—	—	—	—	—	—	ニューヨーク	5.1	4.2	1.6	104	124	4
ボンベイ	25.9	1.6	2.0	0	0	4	マナウス	26.2	0.3	0.6	243	88	3
ホンコン	15.9	0.5	0.4	48	160	4	リオデジャネイロ	28.4	2.5	2.8	78	57	2
チャンチュン	-16.9	0.0	0.0	1	25	2	ロサリオ	25.3	1.5	1.5	107	76	3
ベキン	-4.9	-0.2	-0.2	5	167	4	ホノルル	23.7	1.2	1.7	107	111	4
シャンハイ	5.0	1.7	1.2	46	105	3	タヒチ	27.1	1.1	1.4	135	32	2
バンコク	28.2	2.1	1.6	1	11	—	ダーウィン	28.6	0.4	0.6	306	90	2
マニラ	26.3	0.9	1.1	2	11	4	キャンベラ	20.6	0.4	0.4	35	56	2

1990年1月の世界の天候

今月の月平均 500 mb 天気図の特徴は、極渦の中心がオホーツク海とカナダ北部の二つに割れて、極付近は正偏差となったことである。ヨーロッパは月を通してリッジ場となり正偏差となった。中緯度は、中東付近が負偏差となったのを除いて全般に正偏差が卓越した。

① 南アジアの高温

インド北部やバングラデシュでは、12月の下旬から1月の月上旬にかけて強い寒波に襲われて、多くの死者が出たが、その後気温は高くなり、1月の平均気温はインドからインドシナ半島にかけての広い範囲で、高温となった。

② ヨーロッパ北部の多雨

③ ヨーロッパ南部の少雨

今が雨の多い季節であるフランス南西部や、イタリア北部を中心としたヨーロッパ南部では、広い範囲で少雨となった。フランスのストラスブールで 14 mm (平年の 36%) など。この地域では、昨秋から雨の少ない状態が続いており、昨年のも少雨となっているので、影響が懸念されている。また、気温も高めで、スキー場の雪不足が伝えられ、ソ連の穀倉地帯でも積雪がなくなったところがある模様。一方、ヨーロッパ北部では、多雨(雪)となった。下旬には、発達した低気圧がイギリスからフランス北部、西ドイツ北部などを通過して、強風による大きな被害を出した。

④ 中東の低温

500 mb 天気図の負偏差域におおわれた中東から、東アフリカにかけては月を通して気温が低く、低温となった。

⑤ アメリカ合衆国の多雨

アメリカ合衆国では、東側の半分を中心に多雨となった。ニューオーリンズで 278 mm (2.8倍) など。月上旬には、北西部沿岸でも一連の低気圧により大雨となり、洪水が発生して被害が出た。一方、西部では、カリフォルニアを中心に慢性的な乾燥状態がここ3年ほど続いており、干ばつが懸念されている。

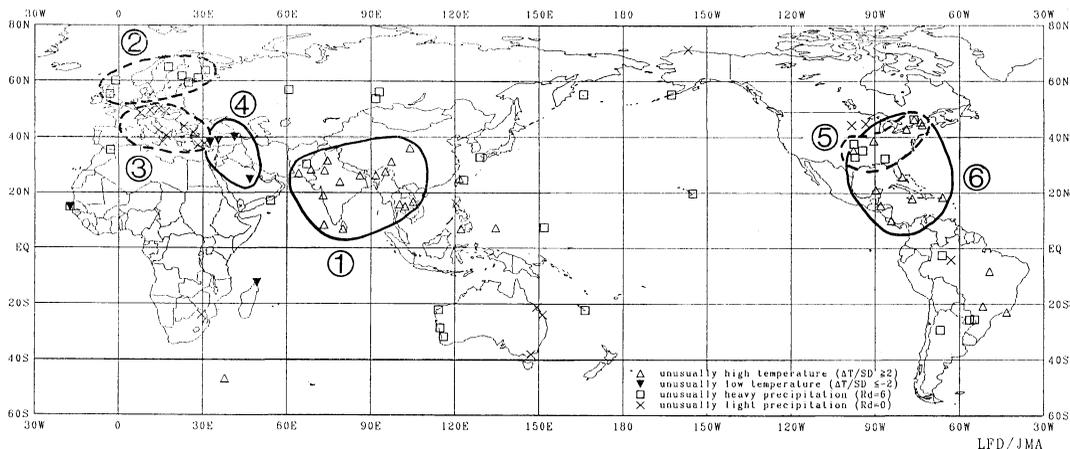
⑥ アメリカ合衆国・中米の高温

昨年12月に寒波に襲われて低温だったアメリカ合衆国では、一転して全国的に気温が高くなった。合衆国東部から、メキシコやカリブ海沿岸諸国などでは高温となった。

⑦ その他

南米では、ブラジル南部からアルゼンチンにかけて先月に引続き雨が多く、気温も高めで大豆などの生育が順調であると伝えられている。

オーストラリア南東部では少雨で、月の前半には厳しい暑さの中で山火事が発生して、多くの被害が出た。また、西海岸では、月末になってサイクロンが上陸し、多雨となった。(気象庁長期予報課・三浦芳敬)



1990年1月の世界の異常天候分布図
図中の番号は、本文中の番号と対応している。

△：高温 ▼：低温
□：多雨 ×：少雨

1990年1月の気候表の説明

降水階級は、1931～1960年のデータに基づく五分位値。0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。